

研究課題名	PET 検査におけるデバイスレス呼吸同期撮影法の有用性に関する研究
研究期間	実施許可日 ~ 2025 年 12 月 1 日
研究の対象	2022 年 3 月から 2025 年 3 月の間に、体幹部に FDG 高集積の腫瘍を有し広島大学病院で PET/CT 検査を受けられた患者さ
研究の目的・方法	<p>研究目的：PET 画像の呼吸同期画像再構成により、呼吸の影響による画像の劣化が低減できることが明らかになっていますが、全ての症例で呼吸による画像の劣化を防止できるわけではありません。本研究では、PET 画像を用いてデバイスレス呼吸同期画像を作成し、従来法とデバイスレス呼吸同期法によって得られた PET 画像を比較することで、呼吸同期によって PET 画像の影響の低減を確認できれば、臨床の場において画質向上に大きく貢献できると考えられます。</p> <p>研究の方法：本研究は、PET 画像情報を調査して行います。</p> <p>撮影された PET 画像から氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。上述のように誰のものか分からないように加工された PET 画像を、PET 装置メーカー（キヤノンメディカルシステムズ株式会社）に提供し、デバイスレス呼吸同期法による画像再構成を行います。なお、デバイスレス呼吸同期法による画像再構成は今後本学で実施する予定です。従来法で撮影された PET 画像とデバイスレス呼吸同期法で再構成された画像とを比較し、デバイスレス呼吸同期法による PET 画像の画質の改善程度を評価します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：PET 画像
外部への試料・情報の提供	キヤノンメディカルシステムズ株式会社への情報提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で WEB システムを用いて行います。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2023 年 6 月 26 日）以降隨時
個人情報の保護	情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないように加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理し、外部へ提供することはありません。
研究組織	<p>本学の研究責任者（研究代表者） 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科 准教授 中村 優子 研究機関の長 広島大学理事 田中 純子</p>

	<p>共同研究機関 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 末兼浩司</p>
その他	<p>この研究と利害関係が想定されるキヤノンメディカルシステムズ株式会社より、契約を締結して研究資金の提供を受けていますが、この研究の実施や解析、結果の解釈に影響を及ぼすことはありません。なお、利害の衝突に関しては、本学の利益相反管理委員会で審査を受けています。</p>
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられるについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5560 広島大学病院 画像診断部門 高内 孔明</p>